

第 1 号議案

令和3年度事業報告書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

特定非営利活動法人まちの相談室よりせい

1 事業実施の概要

令和3年度法人の事業運営は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、本法人が計画した各種事業においては、新しい生活様式を勘案し三密に配慮しながらの実施であった。

日常的に社会福祉全般の困りごとに関する相談支援や成年後見申立支援を行うとともに、「生活の困りごとなんでも相談会」は、予約制とし、引きこもりやヤングケアラー問題もお知らせに明示した。このことで事前に確実な相談件数と相談概要が事前に把握でき、ニーズに合わせ多くの専門職と協働して相談内容に迅速にかつ的確に対応することができた。

また、東近江市からの事業委託を受け、障害者を対象とした余暇支援事業「通称わいわい倶楽部」は、感染症の影響で中止のときもあったが、対策を行う中で年4回工夫を凝らしながらなんとか実施できた。交流の機会が失われやすい時期だからこそ、利用者に非常に喜んでいただけ、仲間づくりやボランティアとの交流を深める貴重な機会となった。加えて「成年後見制度研修会」の開催により後見人の役割、関係の下での制度活用の理解が進められた。

さらに、従来より市民に対する法人活動の理解を進めるため、各種イベントに参加してきたが、感染症により中止や規模縮小となり、それに代わるまちづくりネットによる動画紹介やZoom交流会に参加した。また昨年に引き続き「よりせいDay」と銘打って、当事務所が所属する会館のフロアなどを利用して、法人の活動紹介や物品販売などで啓発活動を行うとともにこの機会を活用してなんでも相談コーナーを設けた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (円)
社会福祉全般の困りごとに関する助言または支援・協力	生活の困りごとなんでも相談会	別紙のとおり				40,862
福祉のまちづくりをすすめる、地域の活性化をはかるための事業	啓発事業 よりせいDay（事務所および周辺） 市内イベントに参加 わくわくこらぼ村（動画配信）	別紙のとおり				4,389 3,816

障害者等の生活支援にかかわる事業	余暇支援事業の受託	別紙のとおり	191,965
権利擁護に関する事業	権利擁護に関する相談支援業務受託 成年後見制度研修会	別紙のとおり	370,803

令和3年度 生活の困りごと なんでも相談会実績報告

1. 内容

- ①日時 平成4年2月27日(土) 13:30~17:00
当初計画では9月26日(土)
- ②場所 東近江市福祉センター ハートピア
- ③相談実件数 7件
- ④相談の内容
- ・成年後見制度について
 - ・独居高齢者の不動産管理について
 - ・家族の認知症への対応及び不動産の処分方法について
 - ・閉じこもり状態の家族について
 - ・精神疾患を患う家族への対応について
 - ・ひとり親家庭のしんどさについて
 - ・認知症について家族の向き合い方や制度を教えてほしい
- ⑤相談員 弁護士1名、司法書士1名、社会保険労務士1名、社会福祉士6名、
高齢者施設相談員1名、障害福祉相談員1名、県社協専門相談員1名
行政保健師1名、行政社会福祉士1名 社会福祉協議会2名 合計16名
- ⑥事業費 40,862円

2. 成果

- ・相談終了後のアンケート結果から、「光が見えた」「聞いてもらえただけで安心できた」「もっとかた苦しいものと思っていたが、気軽に話せた」「丁寧に答えてもらえた」「アドバイスもらえて良かった」など、プラスの評価をされていた。
- ・困りごとの解きほぐしを一緒に行うことで、相談者には課題等の整理がすすみ、安堵感を覚える時間となった。
- ・相談は予約制とした。また、行政やよりそいへの相談者に再相談を呼びかけ、安心してもらえる対応ができた。
- ・家族の精神的疾患による困りごと、悩みへの相談があった。閉じこもりの状況ではないが、チラシの案内に気持ちが動いたと思われる。

3. 課題

- ・日ごろの行政等の相談窓口を利用された相談について、この相談会の利用を呼びかけてもらえるよう、加えて相談内容の継続的支援のため、関係課との連携を継続する。
- ・案内チラシについて、引き続いて具体的に、困りごとの相談を促しやすい内容にしていく必要がある。(閉じこもり、ヤングケアラー等)
- ・よりそいが、相談後のフォローや継続的なかわりが行えるよう、相談員体制や相談会プログラムの見直しを検討する。

令和3年度 『よりそい』啓発事業 実績報告

1. 内容

(1) 常設展示で広報・壁面・空きスペースを利用し事業を紹介した。

- ・お花紙でよりそいのロゴを手作り(大きさ：縦140cm×横100cm)
よりそい事務所 正面入口左壁面に吊下げ展示した。
- ・よりそいは相談ごとに関する専門の事業所である。「気軽にご利用を」との思いから事務所入口左側に紹介の立て看板を設置した。また、事務所窓ガラスにも同様に掲示した。
- ・ロビーに設置するオープン棚に手作りのよりそい情報紙や福祉・介護等の資料を展示。情報提供をしている。

(2) オリジナルイベント「よりそいDay」を開催

- ① 日時：令和3年11月6日(土) 7日(日) 10:00~15:00
- ② 場所：旧八日市保健センター内ロビー・正面玄関左軒下スペース
- ③ 事業紹介
 - ・ほりだしもの市と銘うち、多くの品を展示、安価でおすそ分けを計画。採れたて野菜や果物に観葉植物。家で眠っていた服やカバン等の品々。売上は17,300円で活動への協力金として大切に活用した
 - ・よりそいDayに相談コーナーを設けた。
福祉に関する相談や生活の困りごと等の相談を受付。案内の立て看板を設置した。
 - ・よりそいDayでは、わいわい倶楽部に参加された方からの近況を知らせる手紙等を掲示し紹介した。
 - ・感染症対策をしっかりとり実施した。
- ④ 周知の方法
 - ・よりそい会員へ案内文とポスターを発送。
また関係者や関係機関等にポスターを持参し協力依頼。
更に一定期間館内に掲示した。

(3) 地域のイベントへの参加

- ① わくわくこらぼ村に参加 令和4年3月5日(土)・6日(日)
事業紹介：パネル展示(旧保健センター内ロビー)
動画配信でも紹介された。
- ② わくわくこらぼ村参加事業者交流会(ズーム)の開催
令和4年3月25日(金) 18:30から1時間程度
- ③ 第45回 二五八祭り参加について 参加は見送った
(二五八祭りは形を変え開催された：ウォークラリー他)

2. 成 果

- ・旧八日市保健センターの一部を借用し開催したオリジナルイベント「よりそいDay」は資金調達や周知の機会として開催した。啓発事業として一定の評価ができた。
- ・「わくわくこらぼ村」のネット配信による事業紹介はPR効果が高められ、啓発等の機会が広がった。

3. 課 題

- ・当法人は、活動を通じ地域の皆さまの心のよりどころとして、頼れる場所として存在し続けることの必要性を感じている。
- ・活動を通じた地域の方たちとの交流、活動に参加協力頂くボランティア等と交流を図り「よりそいらしさ」を損なうことなく事業を展開していくことの必要性を痛感している。よりそいとして、どの様に啓発していくか課題である。
- ・人としての感情や社会の便利な機器をいかに上手く活かし融合させ啓発事業に取り入れていくか課題である。

令和3年度余暇支援事業（わいわい倶楽部）実績報告

1. 内容

	日 時	場 所	参加者数	スタッフ数	内 容
第1回	2021/5/15 (土) 10:00～ 12:00	(旧)八日 市保健セン ター	16	スタッフ:3 ボランティア: 7	「野菜を育てよう」 ～大きくなあれ!! わたしの 野菜～
第2回	2021/7/17 (土) 10:00～ 12:00	(旧)八日 市保健セン ター	19	スタッフ:2 ボランティア: 6	「のびのびアート」 ～上手下手関係なし!! パプリカを観察しながら紐 とクレヨンで作品づくり
第3回	2021/11/27 (土) 10:00～ 12:00	(旧)八日 市保健セン ター	15	スタッフ:2 ボランティア: 7	「エンジョイスports」 ～ニュースportsのスロー イングビンゴに挑戦～
第4回	2021/12/21 (火) 10:00～ 12:00		44		「年賀状送付」 わいわい倶楽部参加のお礼 と1、3月のお知らせ
第5回 (中止)	2022/1/15 (土) 10:00～ 12:00	(旧)八日 市保健セン ター			「楽器を作ってみんなで楽 しく演奏しよう」 ～ペットボトルの楽器で演 奏～
第6回 (中止)	2022/3/26 (土) 10:00～ 12:00	小杉豊農園			「いちご狩り」 ～あまくておいしい いち ごをひとり占め～
合 計			94	スタッフ:12 ボランティア:20	

事業費…323,500円（受託額300,000円+参加料23,500円）

*変更事業費 191,965円（参加料23,500円含む）

*変更受託額 168,465円

*委託料返納額 131,535円

2. 成果

当初5回実施予定であり、コロナ禍の中で感染状況を見極めながら何とか3回実施したが、12月は感染拡大による危険性もあり中止し、年賀状を送付した。合わせて1月3月のお知らせも行ったが、第6波の感染拡大となり、1月は直前になってやむなく中止とした。参加者から当法人への年賀状もあり、わいわい倶楽部への参加を楽しみにしている様子が伺えた。

何とか3月は実施したいと考えていたが、参加者の3回目ワクチン接種が終わっていない状況下では懸念されることも多く、中止とした。

結果として3回の実施と年賀状の送付となったが、野菜育てや創作活動、スポーツ等、内容に工夫をしながら実施できたことはよかった。1月には、早期療育事業スタッフの皆さんにも参画いただけるようになり、スタッフの充実にもつながる動きができた。

3年目を終了し、参加者のみなさんには「よりそいの事業」として認知されつつあり、障害者の余暇活動支援や仲間づくり、ボランティアとの交流、事業の広報、新規参加者の確保など関係機関の理解と協力につながった。

さらに、事業への継続的な参加をきっかけに、事務所へ電話や訪問する方もあり、近況報告や事業内容等について意見や要望を聞くことができるようになった。

3. 課題

- ・(旧)八日市保健センターが会場の場合、感染防止対策を講じた事業内容、参加者数などに限界がある。(会場が狭く、三密に気を付けた事業内容が難しい)
- ・個別対応が必要な参加者が数人あり、担当スタッフの負担が大きい。
- ・家族等の送迎ができない参加希望者への検討が必要である。
- ・外出する事業を実施する場合、交通手段の確保が難しい。
- ・参加者とスタッフ、ボランティア間の信頼性を高め、参加者の困り事に対応できる関係機関等との体制づくりが必要である。
- ・家族等の参加を通して、家族からの相談や悩み事が話せる機会を考えていく。

令和3年度

権利擁護に関する相談支援業務実績報告書(高齢者)

相談者集計				相談内容			対応内容		
相談実数		27		権利擁護	成年後見	13	相談(紹介)	地域福祉権利擁護事業	2
相談延件数	新規	25			虐待	4		成年後見制度	11
	継続	4			消費者被害	3		介護保険制度	6
	合計	29			金銭管理	11		民間サービス	2
	来所	12			借金負債	2		弁護士・司法書士	2
相談方法	電話・メール	9			遺言・相続	7		医療機関	5
	訪問	0			その他	9		居宅介護支援事業所	1
	その他	8			小計	49		介護サービス事業所	2
	合計	29			医療・介護	認知症		9	その他
相談者	本人	6				傷病		10	小計
	親族	9		介護		13	連絡調整	市担当課	5
	その他	14		サービス利用		16		消費生活センター	
対象者	男性	女性		その他		2		社会福祉協議会	
65歳未満		1	1	小計		50		その他	5
65~69歳	1		1	その他	生活	18	小計	10	
70~74歳	6		6		住環境	5	その他	相談のみ	23
75~79歳	4	4	8		親族関係・トラブル	5		訪問	1
80~84歳		4	4		近隣関係・トラブル	1		手続き等支援	5
85~89歳	1	2	3		その他	7		その他	6
90歳以上	1	3	4		小計	36		小計	36
合計	13	14	27		合計	135		合計	86

令和 3年度 権利擁護に関する相談支援業務実績報告書(障がい者)

相談者集計				相談内容		対応内容			
相談実数				21					
相談延件数	新規		14		権利擁護	成年後見	10		
	継続		20			虐待			
	合計		34			消費者被害			
相談方法	来所		18			金銭管理	4		
	電話・メール		9			借金負債	1		
	訪問		3			遺言・相続	2		
	その他		4			その他	17		
	合計		34			小計	34		
相談者	本人		13			医療・介護	認知症	1	
	親族		19				傷病	12	
	その他		5		介護		4		
対象者	男性	女性			サービス利用		10		
					その他		2		
65歳未満	身体		1	1	小計		30		
	知的	1		1	連絡調整	生活	21		
	精神	11	4	15			住環境	5	
	小計	12	5	17			親族関係・トラブル	2	
65歳以上	身体	2		2	その他	近隣関係・トラブル			
	知的	1		1			その他	14	
	精神	1		1			小計	42	
	小計	4		4			相談のみ	20	
合計	16	5	21	合計			106		合計

9

令和3年度 成年後見制度相談支援業務実績報告書(高齢者・障がい者)

相談者氏名	本人氏名	支援経過					
		支援依頼日	初回相談日	相談支援回数	申立て日	申立人	申立て類型
T・T	T・M	令和3年10月1日	令和3年10月4日	10回	令和3年12月23日	T・T	後見
以上							

10

令和3年度 成年後見制度研修会 実績報告

1. 内容

- ①日時 令和4年3月8日(火) 13:30～15:30
- ②場所 旧保健センター会議室
- ③参加者の状況 参加者数 9名
ケアマネージャー、施設管理者、相談支援専門員、行政職員等
- ④研修の内容
関係機関からの事業紹介(社協、まちの相談室よりそい、行政)
成年後見制度活用事例の提供・意見交換
- ⑤事業費 なし

2. 成果

- ・初めての研修会であったが、参加者はスムーズに研修に参加できたようで、継続的に研修会を開催されるよう、希望された。
- ・成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の関連、違いなど再確認する機会になった。
- ・事例の提供を通じて、成年後見制度の具体的な運用や後見人の役割、連携等の実際を知る機会になった。

3. 課題

- ・コロナの感染予防の観点から、会場規模、研修の方法等を考慮して、参加者数を予想することの困難さがある。
- ・参加者にとっては、この場が、交流や横のつながり、考え方の整理の場等となるよう、研修の内容、方法等を検討する必要がある。

(法第28条第1項関係)

第2号議案

活動計算書

井控非営利活動法人
子どもの相談室より

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	58,000	
賛助会員受取会費		58,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	5,180	
施設等受入評価益		5,180
3. 受取助成金等		
なんでも相談会助成金	30,000	
市民活動支援助成金	490,000	
権利擁護相談支援業務委託	168,465	
障害者余暇支援業務委託		688,465
4. 事業収益		
地域活動支援	23,500	
地域交流参加	17,300	
		40,800
5. その他収益		
受取利息	6	
雑収入	17,484	
		17,490
経常収益計		809,935
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当		
法定福利費		
退職給付費用		
福利厚生費		
人件費計		0
(2) その他経費		
諸謝金	80,000	
会議費	4,718	
旅費交通費	98,000	
消耗品費	133,688	
燃料費	3,816	
印刷製本費	0	
光熱水費	182,198	
共益費	39,220	
通信運搬費	68,295	
保険料	1,680	
手数料	220	
賃借料	0	
消耗什器備品費	0	
雑費		
その他経費計	611,835	
事業費計		611,835

2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
諸謝金	5,000		
会議費	3,227		
旅費交通費	0		
消耗品費	4,924		
燃料費	0		
印刷製本費	0		
光熱水費	0		
修繕費	0		
通信運搬費	6,090		
保険料	0		
賃借料	0		
消耗什器備品費	0		
雑費	0		
その他経費計	19,241		
管理費計		19,241	
経常費用計			631,076
当期経常増減額			178,859
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
.....		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
.....		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			178,859
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			178,859
前期繰越正味財産額			286,329
次期繰越正味財産額			465,188

(法第28条第1項関係)

貸借対照表
令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人
子らの相談室より

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	465,188	
未収金		
流動資産合計		465,188
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬費		
什器備品		
.....		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
.....		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金		
〇〇特定資産		
.....		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		465,188
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
前受助成金		
.....		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
.....		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		286,329
当期正味財産増減額		178,859
正味財産合計		465,188
負債及び正味財産合計		465,188

(法第28条第1項関係)

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

基本財産	0円	
運用財産	預金	普通預金
	ゆうちょ銀行	465,188円
	口座番号	
	口座名義	特定非営利活動法人 まちの相談室 よりそい

上記は財産目録である。

特定非営利活動法人 まちの相談室よりそい
理事長 日 永 清 恵